

平成 3 0 年度とちぎ健康福祉協会事業報告

自 平成 3 0 年 4 月 1 日

至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

I 管理部

1 総務課

(1) 事業執行概要

協会本部としての総合的な企画調整機能及び経営管理体制の充実強化を図るとともに、各施設等との連携により、協会の自主自立経営を図るために必要な事業を実施した。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

○ 桜ふれあいの郷施設建替整備

ア 基本設計・実施設計

事業名	期間	実績額	業者名
桜ふれあいの郷建替整備設計業務	平成 29 年 9 月 13 日～ 平成 31 年 2 月 28 日	162,993,600 円	栃木県建築設計協同組合

イ 体育館解体等工事

事業名	期間	実績額	業者名
桜ふれあいの郷建替整備体育館解体その他工事	平成 30 年 10 月 1 日～ 平成 31 年 2 月 28 日	130,518,000 円	㈱磯部建設

※ 全体整備計画

年度	実績及び計画
平成 29 年度	基本計画策定、基本設計
平成 30 年度	基本設計・実施設計、体育館解体等工事
令和元年度	建物新築工事着手
令和 2 年度	建物新築工事完了、引越、既存施設解体工事設計
令和 3 年度	既存施設解体工事

○ 障がい者支援センターふれあい建替整備

ア 実施設計

事業名	期間	実績額	業者名
障がい者支援センターふれあい実施設計業務	平成 30 年 12 月 17 日～ 平成 31 年 3 月 15 日	1,134,000 円	㈱渡辺有規建築設計事務所

○ 競争試験、専門職試験、学校長推薦による職員採用の実施（平成 31 年 4 月 1 日付け採用者 11 名）

② 自主自立経営の確立

○ 会計監査人候補者の選定

事業名	期間	実績額	業者名
監査受嘱のための予備調査契約	平成 30 年 10 月 15 日～ 平成 31 年 1 月 31 日	756,000 円	入江公認会計士事務所

(注) 当初契約期間 平成 31 年 3 月 31 日まで

当初契約金額 2,376,000 円

予備調査期間中に、厚生労働省からの通知により会計監査人の設置義務化延期により契約終了

- 勤怠管理システムの導入による適切な職員の出退勤管理の実施
- 職員提案制度の活用（提案件数 15 件、実用化 1 件）

(2) 事業実績

ア 評議員会

開催年月日	区分	内容
30.4.1	決議の省略	・理事の選任について
30.6.19	議事	・平成 29 年度とちぎ健康福祉協会決算について ・とちぎ健康福祉協会の役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の改正について
	報告	・平成 29 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について ・桜ふれあいの郷新築工事基本設計の概要について
31.3.27	議事	・社会福祉法人とちぎ健康福祉協会定款の変更について
	報告	・平成 31 年度とちぎ健康福祉協会事業計画について ・平成 31 年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について ・桜ふれあいの郷新築工事設計業務について

イ 理事会

開催年月日	区分	内容
30.4.1	決議の省略	・理事長の選定について
30.5.29	議事	・平成 29 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について ・平成 29 年度とちぎ健康福祉協会決算について ・とちぎ健康福祉協会組織規程の改正について ・とちぎ健康福祉協会の役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の改正について ・第 60 回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について
	報告	・桜ふれあいの郷新築工事基本設計の概要について ・理事長及び常務理事の職務執行状況について
30.6.19	議事	・とちぎ健康福祉協会経理規程の改正について ・平成 30 年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について ・とちぎ健康福祉協会評議員選任・解任委員会の招集について ・評議員候補者の選定について

開催年月日	区分	内容
30. 8. 1	議事	・桜ふれあいの郷体育館解体その他工事に係る一般競争入札の実施について ・平成30年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について ・会計監査人候補者の選定について
	報告	・指定管理者公募に係る指定管理者の指定申請について ・栃木県障害者保養センター那珂川苑の営業終了について
30.11.29	議事	・平成30年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について ・とちぎ健康福祉協会経理規程の改正について ・とちぎ健康づくりセンター・生きがいくりセンター関係業務委託に係る入札の実施について ・清風園給食業務委託に係る入札の実施について
	報告	・会計監査人候補者の選定結果について ・とちぎ健康づくりセンター・生きがいくりセンターの指定管理者候補者の選定結果について ・桜ふれあいの郷体育館解体その他工事に係る入札の結果について ・指導監査の結果について ・理事長及び常務理事の職務執行状況について
31. 3. 13	議事	・社会福祉法人とちぎ健康福祉協定会款の変更について ・平成31年度とちぎ健康福祉協会事業計画について ・平成31年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について ・基本財産の取得について ・借入金限度額について ・とちぎ健康福祉協会組織規程の改正について ・とちぎ健康福祉協会文書取扱規程の改正について ・とちぎ健康福祉協会職員就業規程の改正について ・とちぎ健康福祉協会嘱託職員就業規程の改正について ・とちぎ健康福祉協会職員の給与等の支給に関する規程の改正について ・とちぎ健康福祉協会職員の退職手当に関する規程の改正について ・とちぎ健康福祉協会経理規程の改正について ・一般競争入札の実施について ・平成30年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について ・役員の選任について ・施設長の任免について ・第61回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について
	報告	・入札の結果について ・桜ふれあいの郷新築工事設計業務について

ウ 評議員選任・解任委員会

開催年月日	内容
30.7.4	評議員の選任について

エ 監事監査

開催年月日	内容
30.5.16	平成29年度事業報告及び決算

オ 課長施設長等会議

開催回数	内容
4回 (4・10・11・2月)	事業計画、懸案事項、基本計画（三期計画）の検証、事務改善等職員提案、働き方改革関連法への対応等

カ 職員研修

開催時期	内容
30.4、30.11	平成30年度新採職員研修（前期・後期）
30.7、31.2	事務担当者研修
30.12	平成31年度採用内定者研修
31.3	退職準備講座

キ 説明会

開催時期	内容
30.11	年末調整説明会
31.2	働き方改革関連法施行に伴う就業規定等改正に関する説明会

2 支援業務課

(1) 事業執行概要

地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター障害者自立訓練センター（駒生園）の利用者支援に係る業務を受託し、利用者の自立と社会参加を促進するための支援等を行った。

（主な事業）

① 質の高いサービスの提供

- 個々の障害特性に配慮した説明や選択肢の提示による利用者の意思決定支援
- 障害者の虐待防止や権利擁護に関する研修受講等による虐待防止の徹底
- 苦情や相談受付担当者の設置による苦情解決や相談体制の充実
- 高次脳機能障害研修や福祉人材研修の参加等による職員の資質向上

3 わかくさ

(1) 事業執行概要

母子のDV被害からの退避や回復、親子関係の再構築や社会的な自立の促進及び子どもの貧困対策の推進などの取り組みの連携を強化しながら、母子が健全な社会生活を営めるよう支援した。

また、安定的な経営基盤を維持するための自主自立経営への取り組みや、施設の存在価値を高めるための地域貢献の取り組みを行った。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 個別対応職員の配置
- 心理療法担当職員による心理相談事業
- 利用者の働き方に対応した補完保育の実施
- 母親への就労支援及び資格取得支援
- 学習支援や体験活動の実施を通した子どもの健全育成
- 福祉事務所、学校、保育園との連絡会議の開催
- 夜間宿直の実施
- 敷地内アスファルト舗装工事の実施及び子ども用自転車置き場の増設

② 自主自立経営の確立

- 記録管理システムの導入による事務の効率化
- 関係機関等へのパンフレット送付等による広報
- 施設見学の積極的受入

③ 地域社会への貢献

- 一時保護受託事業の実施
- 緊急一時利用の受入
- 秋まつりイベントへの地域住民の招待及びボランティア受入

(2) 事業実績

ア 母子生活支援施設 定員20世帯

	平成29年度			平成30年度		
	合計	月平均	稼働率 (%)	合計	月平均	稼働率 (%)
世帯数 (世帯)	210	17.5	87.5	212	17.7	88.3
家族人数 (人)	608	50.7		596	49.7	
母 親 (人)	210	17.5		212	17.7	
児 童 (人)	398	33.2		384	32.0	

イ 年度末の入所利用者の状況（平成31年3月31日現在）

(7) 母親の状況

区分	10代	20代	30代	40代	50代以上	合計
母親（人）		3	9	6		18

(イ) 世帯当たりの人数

区分	2人	3人	4人	5人以上	合計
世帯数（世帯）	10	5	1	2	18

(ウ) 児童の状況

区分	未就学児	小学生	中学生	高校生以上	合計
児童（人）	8	23	1		32

ウ 一時保護受託事業

区分	平成29年度	平成30年度
年間延利用日数（日）	36	47
実世帯数（世帯）	1	3

エ 緊急一時利用事業

区分	平成29年度	平成30年度
年間延利用日数（日）		19
実人数（人）		2

オ 実施行事

時期	内容
4月	○入学祝い
5月	○端午の節句 ○遠足（小2～小6） ○母の日のプレゼント作り ○母と子のつどい（第1回）
6月	○遠足（小1）
7月	○母親サロン（第1回） ○七夕会 ○母親教養講座（第1回） ○ラジオ体操
8月	○小学生調理体験 ○母と子のつどい（第2回） ○食事会（流しそうめん） ○DVD鑑賞会

時期	内容
9月	○食事会（母親対象） ○わかくさ秋祭り（施設機能強化推進事業）
10月	○ハロウィンイベント
11月	○牧場体験（施設機能強化推進事業・心身機能低下防止事業） ○七五三のお祝い ○母親教養講座（第2回）
12月	○クリスマス会 ○正月準備（施設機能強化推進事業）
1月	○書初め大会
2月	○社会教育活動 ・日光方面宿泊（高学年男子） ・益子方面（高学年女子） ・いちご狩り（低学年男女） ○ボウリングゲーム（施設機能強化推進事業） ○節分
3月	○ひなまつり ○母親サロン（第2回） ○貸出図書・DVDの整備 ○小学生調理体験 ○DVD鑑賞会
定例	○書道教室（毎月第1・3水曜日） ○英語教室（月2回） ○セカンドステップ（月1回） ○母親常会（偶数月） ○施設内保育（随時） ○「蒲公英」発行（月1回） ○学習支援（随時） ○お絵かきクラブ（月1回） ○誕生祝い（随時） ○子ども常会（随時） ○日本語教室（月2回） ○学生施設実習（随時）

カ 関係機関との会議

(ア) 福祉事務所との連絡会議（年2回）

(イ) 保育園との連絡会議（あゆみ北保育園、西が岡保育園、松原保育園、宝木保育園：年2回
ありんこ保育園：年1回）

(ウ) 小学校との連絡会議（晃宝小学校：年2回）

4 桜ふれあいの郷

(1) 事業執行概要

利用者の権利擁護に努め、自己選択や自己決定の意思及び人格を尊重するとともに、個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進した。

また、利用者の心身の状態や地域生活への意欲等を勘案しながら、グループホーム等地域生活への移行を進めるとともに、地域で生活する障害児者及びその家族に対する支援の拠点となる

「障がい者支援センターふれあい」において、様々な福祉サービスの提供を行った。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 虐待防止委員会を中心とした自己チェックの実施による虐待防止の徹底
- 倫理綱領、職員行動指針の徹底
- リスクの早期発見、改善に努める等リスクマネジメントの徹底
- 成年後見制度の活用による利用者の権利擁護
- 利用者の体調急変に対する適切な対応を目的とした救命救急講習会の受講
- 桜ふれあいの郷施設建替整備に係る設計業務及び体育館解体等工事の実施
- 障がい者支援センターふれあい建替整備に係る実施設計業務の実施
- 介護用リフトの整備（支援三課、支援四課）
- グループホーム居室へのエアコン設置

② 自主自立経営の確立

- 省エネ、経費節減に配慮した桜ふれあいの郷施設建替整備に係る基本・実施設計

③ 地域社会への貢献

- 施設体験研修及び交流行事の実施
- 栃木県障害・施設事業協会のセーフティネット拠点事業の継続実施
- いちごハートねっと事業への参加（おこまり福祉相談事業、物品の貸出）
- 栃木県災害福祉支援チーム（DWA T）への登録

(2) 事業実績

ア 児童施設

(7) 障害児入所施設（定員 15 名）

	平成 29 年度				平成 30 年度			
	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率
	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
延利用者数	5,965	365	16.3		5,796	365	15.9	105.9
内、措置人数	4,531	365	12.4		4,380	365	12.0	
内、契約人数	1,434	365	3.9		1,416	365	3.9	

※ 平成 29 年度は、施設体系移行前（障害児と障害者合計で 30 名定員）のため、稼働率未記載

(イ) 障害者支援施設（併設）（定員 生活介護 15 名 施設入所支援 15 名）

	平成 29 年度				平成 30 年度			
	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率
	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
生活介護	3,650	263	13.9		3,862	263	14.7	97.9
施設入所支援	5,091	365	13.9		5,433	365	14.9	99.2

※ 平成 29 年度は、施設体系移行前（障害児と障害者合計で 30 名定員）のため、稼働率未記載

イ 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 140 名 施設入所支援 135 名）

	平成 29 年度				平成 30 年度			
	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率
	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
生活介護	34,669	263	131.8	87.9	32,977	263	125.4	89.6
施設入所支援	48,090	365	131.8	87.8	45,625	365	125.0	92.6

※ 平成 29 年度の定員…生活介護 150 名 施設入所支援 150 名

ウ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 25名 就労継続支援B型 55名 施設入所支援 40名）

	平成29年度				平成30年度			
	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率
	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
生活介護	5,491	263	20.9	83.5	5,907	263	22.5	89.8
就労継続B型	13,068	263	49.7	90.3	13,044	263	49.6	90.2
施設入所支援	13,915	365	38.1	95.3	14,371	365	39.4	98.4

エ 障がい者支援センターふれあい

共同生活援助事業所（定員54名）

	平成29年度				平成30年度			
	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率	年間延べ利	開所日数	平均	稼働率
	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)	用者数(人)	(日)	(人/日)	(%)
共同生活援助	19,010	365	52.1	96.4	18,995	365	52.1	96.4

オ 年度末の入所利用者の状況（平成31年3月31日現在）

（人）

	児童施設 (障害児入所施設)	児童施設（併設） (障害者支援施設)	生活支援施設	就労支援施設	障がい者支援 センターふれあい
10歳未満	1				
10代	15			1	1
20代		3	7	1	6
30代		6	14	6	7
40代		5	27	18	8
50代			20	4	11
60代以上			62	9	20
合計	16	14	130	39	53
平均年齢（歳）	14.1	35.9	56.1	47.8	50.5
平均障害支援区分	—	5.8	5.5	4.4	3.4

カ 短期入所（定員 児童施設 1 名 生活支援施設 4 名 就労支援施設 2 名）（人）

区分	平成 2 9 年度			平成 3 0 年度		
	児童	生活	就労	児童	生活	就労
年間延利用者数		4 1 5	3 9	8	1 9 8	1 3 1
実人数		6	3	1	7	2

キ 日中一時支援事業（定員 1 5 名）（人）

区分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
年間延利用者数	2, 9 0 3	2, 3 6 5
実人数	2 4	1 9

ク 一時保護受託事業（人）

区分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
年間延利用者数	3 2 8	2 8 7
実人数	3	3

ケ 障がい者支援センターふれあい実施事業

事業名	区分	平成 29 年度	平成 30 年度	備考
職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業	利用者支援（件）	43	7	訪問型職場適応援助者 1 名
	ケース会議等（件）	4	1	
障害者就業・生活支援センター	相談支援件数（件）	3, 236	1, 213	就業支援担当者 3 名（専従 3） 生活支援担当者 2 名（専従 1、兼務 1）
	基礎訓練実施件数（件）	5	3	
	職場実習件数（件）	28	21	
	就職件数（件）	44	54	
	相談・支援を行った事業所数（か所）	128	128	
	事業主相談・支援件数（件）	879	690	

事業名	区分	平成 29 年度	平成 30 年度	備考
相談支援事業	計画相談支援（件）	538	543	サービス利用支援 251 件 継続サービス利用支援 292 件
	障害児相談支援（件）	59	63	サービス利用支援 30 件 継続サービス利用支援 33 件
	障害者相談支援事業（件）	1,498	921	さくら市受託事業
	障害支援区分認定調査業務（件）	41	28	さくら市受託事業
移動支援事業	契約者数（人）	54	16	契約市町 9
福祉サロン	年間延利用者数（人）	1,529	1,412	グループホーム利用者 1,344 人 在宅障害者 67 人 地域住民 1 人

※ 障害者就業・生活支援センターの相談支援件数は、平成 30 年度から集計方法の変更あり

コ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
農産	野菜の生産、当施設で生産したさつまいもを原料にした焼酎の販売
受託加工	Tシャツや Poloシャツ等へのプリント加工、自動車部品のバリ取り、餃子の箱組み立て
除草作業	敷地内緑地等の除草作業（2箇所）
焼き菓子・パン製造販売	焼き菓子：クリスマス等季節のイベントギフトの製造販売 パン：イベント等での出張販売、施設内給食への販売
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング

(イ) 利用者工賃（1人当たり平均工賃月額）

（円）

項目	平成 29 年度	平成 30 年度
1人当たり平均工賃月額	15,705.9	13,566.5
目標工賃月額	15,450	15,500

サ 実施行事

時期	児童	生活	就労	グループホーム	共通
4月	○南那須特別支援学校 入学式 ○外出	○春の旅行	○外出	○花見	○家族交流食事会
5月	○外出	○春の旅行 ○外出	○外出	○さくら市一斉清掃	○春のつどい
6月	○春の旅行 ○外出 ○特別支援学校運動会	○春の旅行 ○外出	○外出	○旅行	○日産労連チャリティ きやらばん
7月	○外出	○外出 ○あさみ祭り	○外出 ○家族食事会	○ボウリング大会 ○サロン講座	
8月	○納涼祭 ○外出	○外出	○外出		
9月	○外出	○秋の旅行 ○外出	○外出	○サロン講座	
10月		○秋の旅行 ○外出	○外出	○さくら市福祉祭り ○熟田小学校運動会	○桜ふれあいの郷まつり
11月	○こぶし祭 ○外出	○外出	○秋の旅行	○障がい者支援センターふれあい交流会	○障害者文化祭
12月	○クリスマス会	○クリスマス会 ○外出 ○那須島山マラソン大会	○クリスマス会 ○那須島山マラソン大会	○クリスマス会	
1月	○外出	○外出		○映画鑑賞会	
2月	○外出	○外出			
3月	○外出	○外出 ○家族食事会		○映画鑑賞会 ○なかよし会総会	

シ 実習等の受入れ

(ア) 初任者研修（教員） 25名（25校）

(イ) 保育実習（学生） 11名（淑徳大学短期大学部、東京家政大学、鶴見大学短期大学部、聖徳大学、佐野日本大学短期大学、國學院大學栃木短期大学）

5 清風園

(1) 事業執行概要

利用者の権利を擁護し、自己選択や自己決定を尊重しながら、自立と社会参加を支援することで、利用者の自己実現が図られるよう、提供するサービスの充実を図った。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 権利擁護委員会、虐待防止委員会及び苦情解決第三者委員会の活用による利用者本位のサービスの提供
- 権利擁護、虐待防止及び意思決定支援に関する研修の受講
- 倫理綱領及び職員行動規範の見直し
- リスクマネジメント委員会におけるアクシデント事例の検証及び分析
- とちぎ健康の森フェスにおける草木染め体験コーナーへの参加、那珂川苑リハビリ相談会への職員派遣及びシルバー大学校生によるハワイアンダンス等の実演による法人内事業との連携
- 専門職（理学療法士）の新規配置
- 給食業務の委託化
- 敷地内庭園整備（芝張り）の実施
- リフトワゴンの増車による利用者送迎体制の充実

② 自主自立経営の確立

- 専門職の増員による利用者の健康管理の強化
- 事務職員の資質向上を目的とした会計に関する研修の受講

③ 地域社会への貢献

- 近隣の中学校や高校の体験実習受入
- 中学生を対象とした福祉の仕事に関する説明会の実施（さくら市自立支援協議会との連携）
- いちごハートネット事業への参加（おこまり福祉相談事業、施設機能の貸出）
- 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録

(2) 事業実績

ア 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 53名 施設入所支援 50名）

	平成29年度				平成30年度			
	年間延べ利 用者数（人）	開所日数 （日）	平均 （人/日）	稼働率（%）	年間延べ利 用者数（人）	開所日数 （日）	平均 （人/日）	稼働率（%）
生活介護	13,551	313	43.3	81.7	13,352	312	42.8	80.7
施設入所支援	16,693	365	45.7	91.5	16,967	365	46.5	93.0

イ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 45名 就労継続支援B型 20名 施設入所支援 50名）

	平成29年度				平成30年度			
	年間延べ利 用者数（人）	開所日数 （日）	平均 （人/日）	稼働率（%）	年間延べ利 用者数（人）	開所日数 （日）	平均 （人/日）	稼働率（%）
生活介護	11,028	263	41.9	93.2	10,754	261	41.2	91.6
就労継続B型	5,334	263	20.3	101.4	5,372	261	20.6	102.9
施設入所支援	17,660	365	48.4	96.8	17,138	365	47.0	93.9

ウ 年度末の入所利用者の状況（平成31年3月31日現在）

（人）

	生活支援施設	就労支援施設
10歳未満		
10代	1	
20代	1	
30代	4	4
40代	4	6
50代	11	11
60代以上	28	27
合計	49	48
平均年齢（歳）	58.9	60.1
平均障害支援区分	5.7	4.4

エ 短期入所（定員 生活 5名 就労 2名） (人)

区分	平成29年度		平成30年度	
	生活	就労	生活	就労
年間延利用者数	1,069	72	727	181
実人数	16	8	15	7

オ 日中一時支援事業（定員 生活 5名 就労 2名） (人)

区分	平成29年度		平成30年度	
	生活	就労	生活	就労
年間延利用者数	196	17	120	8
実人数	5	1	2	1

カ 就労支援事業

(7) 作業内容

種別	内容
受託加工	機械部品組み立て、線香箱詰め、自動車部品のバリ取り
自主製品製造販売	草木染め、巾着袋等小物：那珂川苑やイベント等における販売
リサイクル	段ボール、古紙のリサイクル
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング、施設内の清掃

(イ) 利用者工賃（1人当たり平均工賃月額） (円)

区分	平成29年度		平成30年度	
	生活介護	就労継続支援B型	生活介護	就労継続支援B型
1人当たり平均工賃月額	7,311.5	20,341.4	7,358.2	17,908.5
目標工賃月額		16,965		17,892

キ 実施行事

時期	生活	就労	共通
4月	○花見会		
5月		○お楽しみ会 ○旅行	○食事会
6月	○子犬とのふれあい教室	○旅行	○春の植栽
7月	○劇団玉手箱公演	○さくら民話の会公演 ○旅行	
8月	○シルバー大学校ボランティア公演	○夏季のお茶会	
9月	○お楽しみ会	○移動動物園（宇都宮動物園） ○旅行	
10月		○ミニ運動会 ○旅行	○食事会
11月		○喜連川中学校吹奏楽部演奏会 ○旅行	○秋の植栽
12月	○クリスマス会・忘年会	○忘年会	
1月	○新年会	○新年会 ○マジックショー公演	
2月	○節分	○節分	○食事会
3月	○ひなまつり ○家族交流食事会	○ボウリング&社交ダンス鑑賞	○食事会
定例	○映画会、外出、お茶会 ○カラオケクラブ	○映画会、外出	

ク 実習等の受入れ

- (ア) 介護実習 17名（国際医療福祉大学、栃木介護福祉士専門学校、矢板高校）
- (イ) 相談援助実習 1名（群馬医療福祉大学）
- (ウ) マイ・チャレンジ推進事業受入れ 1名（氏家中学校）
- (エ) 施設体験実習 16名（さくら清修高校、のざわ特別支援学校）
- (オ) 地域活動実習 13名（シルバー大学校）

6 宝木保育園

(1) 事業執行概要

保育所保育指針及び宝木保育園の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を考慮した保育サービスの提供を図るとともに、地域に開かれた施設として、子育て相談や交流事業、ボランティアや実習生の受入れ等を実施した。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 保育理念・保育士倫理綱領の周知徹底
- 家庭保育に対する理解と関心を深める機会としての保育参観や保育体験の実施
- リトミック、体操、英語、サッカーの各教室の実施
- 野菜作りやクッキングを通した食育の実施
- 安全な食事提供を目的とした日々の食材管理や放射性物質検査の実施
- ブロック塀の一部撤去及びフェンス設置工事の実施
- 遊具の増設（クライミングボード他）

② 自主自立経営の確立

- 多様な保育ニーズに対応した延長保育、休日保育及び一時保育の実施
- 乳幼児の積極的な受入

③ 地域社会への貢献

- 職業訓練を希望する保護者に対する支援としての一時保育の拡充
- 県立聾学校幼稚部との交流保育や近隣の保育所、小学校の行事への参加による交流
- 地域の高齢者施設やシルバーボランティアによる絵本の貸し出しや読み聞かせを通した世代間交流事業の実施
- 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施

(2) 事業実績

ア 保育所 利用定員 160名

	平成29年度			平成30年度		
	合計（人）	平均（人/月）	稼働率（％）	合計（人）	平均（人/月）	稼働率（％）
0歳児	202	16.8		215	17.9	
1歳児	360	30.0		356	29.7	
2歳児	359	29.9		360	30.0	
3歳児	382	31.8		360	30.0	
4歳児	347	29.0		384	32.0	
5歳児	372	31.0		336	28.0	
合計	2,022	168.5	105.3	2,011	167.6	104.7

イ 入退所及び年度末の利用者の状況

(人)

	平成 2 9 年度			平成 3 0 年度		
	入所者数	退所者数	3 月 3 1 日現在 利用者数	入所者数	退所者数	3 月 3 1 日現在 利用者数
0 歳児	17	1 (1)	20	19	1	19
1 歳児	11	1 (1)	30	13	2	29
2 歳児	1	2 (2)	30	1		30
3 歳児	3	1	32	2		30
4 歳児		1	28			32
5 歳児	1	31 (31)	31		28 (28)	28
合計	33	37 (35)	171	35	31 (28)	168

注) () 内は、3 月 3 1 日付け退所者の再掲

ウ 休日保育

区分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
年間延利用者数 (人)	6 9 2	6 4 9
実人数 (人)	3 4	3 6
開所日数 (日)	7 2	7 1

エ 延長保育

区分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
年間延利用者数 (人)	3, 3 5 2	2, 6 2 6
実人数 (人)	1 1 2	1 0 8
開所日数 (日)	2 4 1	2 3 8

オ 一時保育

区分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
年間延利用者数 (人)	1 7 8	1 7 3
実人数 (人)	1 6	1 6
開所日数 (日)	2 4 4	2 4 4

カ 地域子育て支援拠点事業

区分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
年間延利用者数 (人)	4, 4 4 7	4, 5 2 4
開所日数 (日)	1 8 6	1 9 4

キ 実施行事

時期	内容
4月	○入園式 ○お花見会（卒園児との交流） ○保護者会総会 ○保護者とのクラス懇談会
5月	○こどもの日のお祝い ○とちぎ健康の森フェス ○春の遠足（2・3・4・5歳児）
6月	○保育参観（4・5歳児） ○音楽鑑賞会 ○聾学校との交流（3・4・5歳児） ○園外保育（3・4・5歳児）
7月	○夏まつり（卒園児・高齢者との交流） ○保護者体験保育（2月まで） ○お泊り保育（5歳児） ○日本学園出前コンサート ○七夕まつり ○プール開き ○宝木荘（介護付き有料老人ホーム）との交流
8月	○宮っこパレード（4・5歳児）
9月	○観劇会 ○細谷・上戸祭地区敬老会 ○宇都宮市北生涯学習センター文化祭(出品)
10月	○運動会（卒園児・高齢者との交流） ○親子レクリエーション（3歳児） ○食育遠足（4歳児） ○おそうじ教室（5歳児） ○宮っこフェスタ
11月	○修園旅行（5歳児） ○親子観劇会 ○聾学校記念式典 ○マラソン大会（聾学校との交流） ○栃木県障害者文化祭 ○人づくりフォーラム
12月	○おゆうぎ会（卒園児交流） ○クリスマス会（高齢者との交流） ○クリスマスミニコンサート ○ふれあい会食（5歳児）
1月	○お正月あそび（卒園児・高齢者との交流） ○観劇会 ○上戸祭小との交流（5歳児） ○お別れ遠足（高齢者との交流・5歳児） ○あゆみ北保育園コンサート（5歳児）
2月	○節分 ○新入園児説明会及び面接 ○保護者との個人面談 ○人間びな撮影（高齢者との交流）
3月	○ひなまつり ○卒園式 ○新入園児説明会及び面接 ○お別れ会食
定例	○誕生会（月1回） ○英語教室（年10回） ○リトミック教室（年10回） ○体操教室（年6回） ○サッカー教室（年5回） ○食育（食育講座・食育だより年3回発行） ○保健（保健だより年3回発行） ○保護者体験保育（7月から2月） ○朗読ボランティア（月1回） ○図書ボランティア（毎週金曜日）

ク 実習等の受入れ

- (ア) 学生保育実習 8名（作新学院大学女子短期大学部、宇都宮共和大学、東京家政大学、相模女子大学、目白大学）
- (イ) 宮っこチャレンジ受入 5名（星が丘中学校、宝木中学校）
- (ウ) 高校生体験学習 65名（宇都宮中央女子高校）
- (エ) ボランティア受入（随時）
- (オ) わくわく体験受入

7 栃木県障害者保養センター那珂川苑

(1) 事業執行概要

設置以来、多くの障害者やその家族の方々に利用されてきたが、近年の民間宿泊施設のバリアフリー化や施設の老朽化等を踏まえ、栃木県の方針により平成30年度末での廃止が決定され、後に施設の移管先が決定された。

そのような中、指定管理者として障害者とその家族が気軽に宿泊、休養し、レクリエーション等を通して相互の触れ合いと親睦を深められるよう様々な事業を実施した。

なお、平成31年3月18日のチェックアウトをもって営業終了し、営業期間約36年間で55万5千人を超える宿泊利用客を受け入れた。

また、施設閉鎖後の施設移管が円滑に進むよう、栃木県及び施設移管先法人と密接に連携を図った。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 利用者アンケートの実施による利用者ニーズの的確な把握
- 季節感あふれる食事及び地元の食材（温泉トラフグ、八溝ししまる、ホンモロコ）をセットにした「なかがわメシ」の提供
- 入浴介助サービスの実施
- 那珂川苑芸術祭や障害者週間事業の実施
- お楽しみ演芸会（まほろばがたり、マジックショーや漫談）や日曜朝市等のイベントの実施
- 客室前廊下の壁面を「那珂川苑ギャラリー」と称し、障害者の作品やシルバー大学校生、地元作家等の作品（絵画、写真、書、切り絵等）の常設展示
- 営業終了の挨拶と利用案内の送付（宿泊利用者、関係団体、運営協力者、取引業者）

② 地域社会への貢献

- 法人内有資格職員を活用したリハビリテーション相談会の実施
- 障害者の作品販売コーナー「福祉の店」の設置、地元工芸作家の作品展示・販売

(2) 事業実績

ア 宿泊利用状況（利用定員 80名）

(人)

区分 \ 項目		年間利用者数		月平均利用者数	
		平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
障害者	大人	7,650 (70.0)	8,079 (70.3)	637.5	673.3
	小人	214 (2.0)	128 (1.1)	17.8	10.7
	計	7,864 (72.0)	8,207 (71.4)	655.4	684.0
その他	大人	2,866 (26.2)	3,134 (27.2)	238.8	261.1
	小人	193 (1.8)	164 (1.4)	16.1	13.7
	計	3,059 (28.0)	3,298 (28.6)	254.9	274.8
合 計		10,923 (100.0)	11,505 (100.0)	910.3	958.8

注) () 内は、構成比 (%) を示す。

イ 宿泊稼働率状況

(%)

区分 \ 項目		年間稼働率	
		平成29年度	平成30年度
定員稼働率		37.4	39.4
客室稼働率		67.8	72.5

ウ 休憩利用状況

(人)

区分 \ 項目		年間利用者数		月平均利用者数	
		平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
一律		2,859	2,630	238.3	219.2

エ 送迎バス利用状況

区分 \ 項目		年間運行回数 (回)		年間走行キロ数 (km)		年間利用者数 (人)	
		平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
利用回数等		111	139	17,889	20,934	2,130	2,839

オ 入浴介助実施状況

(人)

区分 \ 年度		平成29年度	平成30年度
実人数		52	46
延人数		115	101

カ イベントの実施状況

実施年月日	イベント名	備考
毎月第1土曜日	まほろばがたり	町文化協会語り部部
毎月第3土曜日	お楽しみ演芸会	マジックショーと漫談
毎週日曜日	日曜朝市	地元野菜等の販売
30.4～31.3	二次会場（ラウンジ）カラオケ無料デー	毎月第1火曜日カラオケを無料で提供
30.4.1～30	さくら茶サービス	チェックイン時無料サービス
30.4.1～5.31	湯めぐりスタンプラリー	協賛事業（㈱栃木放送主催）
30.4.28～5.6	花の風まつり	協賛事業（那珂川町主催 休憩・入浴の無料提供）
30.6.9・10・15	「県民の日」無料開放	延利用者数210名 餅の配布、演芸会、カラオケ、アロママッサージ、焼鳥販売等
30.7.21～8.31	しそジュースサービス	チェックイン時無料サービス
30.7.21～8.31	花火セットサービス	夏休み期間中、小学生以下の子供連れ家族等に花火セットを提供
30.7.20 31.2.22	リハビリ相談会	希望する宿泊利用者を対象に那珂川苑にて作業療法士による相談を実施
30.10.1～31.3.8	営業終了に伴う記念品贈呈	対象期間における宿泊利用者先着千組に記念品（置時計）を贈呈
30.10.12	宿泊者55万人達成に伴う記念品贈呈	55万人目の宿泊者及びその前後の宿泊者に記念品を贈呈
30.12.7	クリスマスツリー作り体験	希望する宿泊利用者を対象に那珂川苑にてリース作り体験を実施
30.12.3～9	障害者の日記念事業	県内福祉施設紹介及び作品販売 福祉施設 清風園・桜ふれあいの郷（さくら市） みつわ工房・やみぞひまわり（那須烏山市） ぼら一れ・那珂川町社協（那珂川町）
30.12.1～31.3.17	甘酒サービス	チェックイン時無料サービス
31.1.1～3	新春企画	初詣送迎サービス、餅の無料配布、ドリンクサービス
31.1.26～2.28	開設記念事業	ちんどん披露、くじ引き
31.3.15	宿泊者555,555人目達成記念	該当された方へ花束贈呈
31.3.17	閉館前夜イベント	ちんどん披露、漫談
31.3.18	最後の宿泊者見送り	宿泊者チェックアウト時にカーネーション1輪をプレゼント
31.3.18	閉所式	県、地元関係者、協会とで閉所式と食事会を行う

Ⅱ 事業部

1 事業執行概要

(1) 事業企画課

指定管理事業であるシルバー大学校の運営、及び高齢者生きがいつくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいつくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「とちぎはつらつプラン21（七期計画）」や「とちぎ健康づくり21プラン（2期計画）」に沿った生きがいつくり事業を実施した。

また、とちぎ生きがいつくりセンター県南支所・県北支所の施設管理について、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、敷地内緑地や施設・設備の適正な維持管理に努めた。

（主な事業）

① 質の高いサービスの提供

○ シルバー大学校の運営

- ・地域活動の実践に繋がる地域活動実習の実施
- ・地域活動団体等とのマッチング授業の実施
- ・卒業生による活動事例の紹介

○ ねんりんピックとちぎ2018の開催

- ・スポーツ・文化交流大会（19種目 参加者2,494名）
- ・シルバー作品展（6部門 出展数221点）
- ・主催イベント（とちぎ健康の森フェス2018）とシルバー作品展の同時開催による事業の周知拡大

○ 第31回全国健康福祉祭とやま大会への選手団派遣

- ・派遣選手団（19種目140名）
- ・美術展（出展数12点）

○ 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

受験者643名 合格者71名（合格率11.0%）

○ 介護支援専門員の各種法定研修の実施

延べ受講者1,131名（受講期間 平成30年6月から平成31年3月まで）

② 自主自立経営の確立

- 新入学生の募集期間の延長によるシルバー大学校の学生数の確保
- 賛助会員の増加への取組
 - ・情報誌「いきいきとちぎ」における会員の地域貢献活動の掲載
 - ・「とちぎ健康の森フェス2018」における展示等による会員の紹介

③ 地域社会への貢献

- シルバー大chool卒業生による健康づくり体験会の実施
- 「とちぎ健康の森フェス2018」における、ねんりんピック派遣選手等による競技体験コーナーの設置
- 情報誌「いきいきとちぎ」の発行による高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報提供（発行回数 年4回、市町・関係機関、公民館・病院等へ無料配布）

(2) 健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行った。

特に、「とちぎ健康21プラン（2期計画）」や「健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施した。

（主な事業）

① 質の高いサービスの提供

- 利用者ニーズに応じた施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施
- 団体等に出向いた講座や研修会の実施
 - ・地方職員共済組合栃木支部（メタボス撃退講座・ライフプランセミナー等）
 - ・栃木県シルバー人材センター連合会（ロコモ予防等）
- 利用者の状況や目的に応じた専門職種によるチーム体制での支援
- 健康づくりに関する相談や情報提供、普及啓発
 - ・情報提供コーナーを設置し、月別テーマの掲示
 - ・とちぎテレビ・栃木放送による普及啓発

② 自主自立経営の確立

- アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った運動・栄養・休養の各種事業の実

施による利用者の確保

・施設利用者の運動目的、達成度の調査、検証による利用者の確保

- 継続利用に向けた仕組みづくり（運動メニューの作成や集団指導）

③ 地域社会への貢献

- 電話や来訪による随時の健康相談の実施
- 主催イベント（とちぎ健康の森フェス2018）における、関係団体と連携した無料骨密度測定の実施
- 健康長寿とちぎづくり推進大会「とちぎ健康フェスタ2018」への参加
- 足利大学看護学部公衆衛生看護学学生の実習の受入

(3) 健康の森管理課

県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設・設備の維持管理を行った。

また、利用者が公正公平なサービスを享受できるよう情報発信を行い、施設の利用・貸出においては、個人情報の保護に配慮しつつ「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努めた。

（主な事業）

① 質の高いサービスの提供

- 建物・設備の定期点検、保安警備及び敷地内緑地管理等の維持管理の実施
- 災害・事故等の危機管理対策としての防災訓練の実施及び「とちぎシェイクアウト訓練」の新規実施
- 利用規定の掲示やパンフレットでの周知による公平な施設の利用の確保
- ホームページへの施設の予約状況の掲載による利用者の利便性の向上
- サービス向上委員会の開催による利用者アンケートの分析等、利用者ニーズの把握
- 施設利用時間の開始時間の30分繰り上げ
- 職員を対象とした「とちぎ健康づくりセンタークレーム対応研修」の開催

② 自主自立経営の確立

- 電力・ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制
- 一部教室の窓に断熱フィルムを貼付するなど省資源・省エネルギーの取組

③ 地域社会への貢献

- 県民の日及び家庭の日における親子を対象とした運動フロアの無料開放
- 主催イベント（とちぎ健康の森フェス２０１８）の開催による来場者への施設利用促進及び各種情報発信
- 地域の中学校で実施した職場体験の受入

(4) 就業促進課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識・技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するため実施した次の事業について支援を行った。

ア シルバー人材センター事業

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援した。

イ 高齢者活躍人材育成事業

シルバー人材センターでの就業を希望する高齢者を対象に、様々な技能講習を実施し、就業機会の拡大を図った。

2 事業実績

(1) とちぎ健康づくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分		年間利用時間		月平均利用時間	
		平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
大会議室		1,424	1,301	118.7	108.4
小会議室		1,209	1,210	100.8	100.8
多目的フロア	A全面	1,037	1,017	86.4	84.7
	A2/3面	20		1.6	
	A1/2面	93	65	7.8	5.4
	A1/3面				
	B	629	710	52.4	59.2
	C	1,165	1,093	97.1	91.1
	計	2,944	2,885	245.3	240.4
エアロビクススタジオ		1,369	1,388	114.1	115.7
運動フロア	全面	457	590	38.1	49.2
	1/2面	406	494	33.8	41.2
	1/3面	674	576	56.2	48.0
	1/6面	226	219	18.8	18.2
	計	1,763	1,879	146.9	156.6
合計		8,709	8,663	725.8	721.9

イ 施設利用者

(人)

区分		年間利用者数		月平均利用者数	
		平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
施設利用講習	大人	2,471	2,073	205.9	172.8
	小人	163	145	13.6	12.1
	計	2,634	2,218	219.5	184.8
施設利用カード更新	更新者数	1,954	1,399	162.8	116.6
	面接者数(再掲)	672	420	56.0	35.0
体力測定		327	331	27.2	27.6
温水プール トレーニングルーム ランニングデッキ リラクゼーションルーム		81,879	82,253	6,823.3	6,854.4
合計		86,794	86,201	7,232.8	7,183.4

ウ 健康づくり事業

(上段：人、下段：回)

区分 \ 項目		年間利用者数		月平均利用者数	
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
施設利用講習	受講者数	2,634	2,218	219.5	184.8
	実施回数	187	177	15.6	14.8
体力測定	受検者数	327	331	27.3	27.6
	実施回数	133	136	11.1	11.3
簡易測定	受検者数	54	43	4.5	3.6
	実施回数	54	43	4.5	3.6
健康づくり講座	受講者数	1,900	1,592	158.3	132.7
	実施回数	18 種 104	17 種 101	8.6	8.4
集団指導	受講者数	12,324	13,461	1,027.0	1,121.7
	実施回数	22 種 648	22 種 635	54.0	52.9
計	受講者数等	17,239	17,645	1,436.6	1,470.4
	実施回数	1,126	1,092	93.8	91.0

注) 健康づくり講座については、介護予防事業（シルバー大学校）等を含む。

(2) とちぎ生きがいきづくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分 \ 項目		年間利用時間		月平均利用時間	
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
中央支所	講堂	711	660	59.3	55.0
	演習室 A	575	588	47.9	49.0
	演習室 B	439	569	36.6	47.4
	多目的ホール	335	324	27.9	27.0
	教室 A	436	387	36.3	32.3
	教室 B	289	255	24.1	21.3
	教室 C	380	328	31.7	27.3
	教室 D	252	212	21.0	17.7
	教室 E	86	60	7.2	5.0
	教室 F	497	481	41.4	40.1
	和室	147	171	12.2	14.2
	テニスコート	3,119	3,455	259.9	287.9
	計	7,266	7,490	605.5	624.2

区分 \ 項目		年間利用時間		月平均利用時間	
		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
県南支所	教室 A	150	126	12. 5	10. 5
	教室 B		6		0. 5
	教室 C	198	219	16. 5	18. 3
	教室 D	70	66	5. 8	5. 5
	教室 E				
	教室 F	142	150	11. 8	12. 5
	演習室				
	和室	184	227	15. 3	18. 9
	屋外運動場				
	講堂兼体育館	3	3	0. 3	
	計	747	794	62. 2	66. 2
県北支所	教室 A	346	351	28. 8	29. 2
	教室 B	230	202	19. 2	16. 8
	教室 C	144	144	12. 0	12. 0
	教室 D	201	224	16. 8	18. 7
	教室 E	78	67	6. 5	5. 6
	教室 F	132	129	11. 0	10. 7
	演習室	111	113	9. 3	9. 4
	和室				
	多目的ホール	166	153	13. 8	12. 8
	計	1, 408	1, 383	117. 4	115. 2
合 計		9, 421	9, 667	785. 1	805. 6

イ 栃木県シルバー大学校学生数 (平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在)

(人)

期別		3 9 期生			4 0 期生			合計		
学校名（期別定員）	性別	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
中央校(320)		119	132	251	112	132	244	231	264	495
南校(120)		55	54	109	55	51	106	110	105	215
北校(120)		45	35	80	53	54	107	98	89	187
合計(560)		219	221	440	220	237	457	439	458	897

(3) イベントの開催状況

イベント名	実施日	実施会場
ねんりんピックとちぎ2018	30. 5. 6～5. 27	とちぎ健康の森他
第31回全国健康福祉祭とやま大会	30. 11. 3～11. 6	富山県各市町村

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験

区分	平成29年度	平成30年度
実施日	29. 10. 8	30. 10. 14
申込者数(人)	1, 803	703
受験者数(人)	1, 598	643
合格者数(人)	358	71
合格率(%)	22. 5	11. 0

(5) 介護支援専門員研修

区分 研修名(法定)	平成29年度		平成30年度		備考
	実施日	受講者等(人)	実施日	受講者等(人)	
介護支援専門員実務研修	29.12 ～30.3	受講者数 347 修了者数 343	31.1 ～3	受講者数 77 修了者数 77	介護支援専門員実務研修受講試験合格者 に対する研修
介護支援専門員専門研修 (専門研修課程Ⅰ)	29.6 ～9	受講者数 143 修了者数 141	30.6 ～9	受講者数 129 修了者数 125	就業後6ヵ月以上の者を対象とし、必要に 応じた専門知識、技能の修得を図る研修
介護支援専門員専門研修 (専門研修課程Ⅱ)	29.8 ～12	受講者数 219 修了者数 216	30.8 ～12	受講者数 129 修了者数 127	就業後3年以上の者を対象とし、必要に 応じた専門知識、技能の修得を図る研修
主任介護支援専門員研修	29.12 ～30.2	受講者数 65 修了者数 64	30.12 ～31.2	受講者数 123 修了者数 123	ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供 されるために必要な業務に関する知識及 び技能を修得する研修
介護支援専門員更新研修 (実務未経験者)	29.12 ～30.3	受講者数 69 修了者数 65	31.1 ～3	受講者数 48 修了者数 44	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、 専門職として能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新研修 (実務経験者)	29.6 ～12	受講者数 234 修了者数 231	30.6 ～12	受講者数 355 修了者数 351	
介護支援専門員再研修	29.12 ～30.3	受講者数 77 修了者数 74	31.1 ～3	受講者数 100 修了者数 99	介護支援専門員として必要な知識、技能の 再修得を図る研修
主任介護支援専門員更新研修	29.10～ 11	受講者数 156 修了者数 154	30.10～ 12	受講者数 170 修了者数 169	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、 主任介護支援専門員の役割を果たすため に必要な能力の保持・向上を図る研修
合計		受講者数 1,310 修了者数 1,288		受講者数 1,131 修了者数 1,115	